

33億匹 ダニ供養会

33億匹のダニの菩提を弔い、
世界の子どもたちの健康と
平和を祈願する。

平成28年8月11日（木）

龍門寺

臨済宗妙心寺派・寺院 兵庫県姫路市

河野太通 老師

龍門寺・住職

臨済宗妙心寺派・前管長

全日本仏教会・前会長

要 旨

「33億匹 ダニ供養会」

要 旨

有限会社日革研究所（兵庫県たつの市龍野町日山93-2 代表取締役会長 渡邊秀夫）は、今年のお盆の時季、平成28年（2016年）8月11日（木）、名刹、龍門寺（臨済宗妙心寺派寺院 兵庫県姫路市網干区）におきまして、河野太通老師（龍門寺住職、臨済宗妙心寺派前管長、全日本仏教会前会長）による「33億匹 ダニ供養会」を取り行うことになりました。



河野太通（こうの たいつう）老師

龍門寺住職

臨済宗妙心寺派前管長

全日本仏教会前会長



龍門寺（りょうもんじ）

臨済宗妙心寺派 寺院

山号を天徳山と称する。

寛文元年（1661年）、盤珪国師により創建される。

兵庫県姫路市網干区

資 料

【供養会開催の背景】

1 日本、世界でのダニ問題の現況

(1) 現代社会の各国共通の国民病 アレルギーとダニの問題

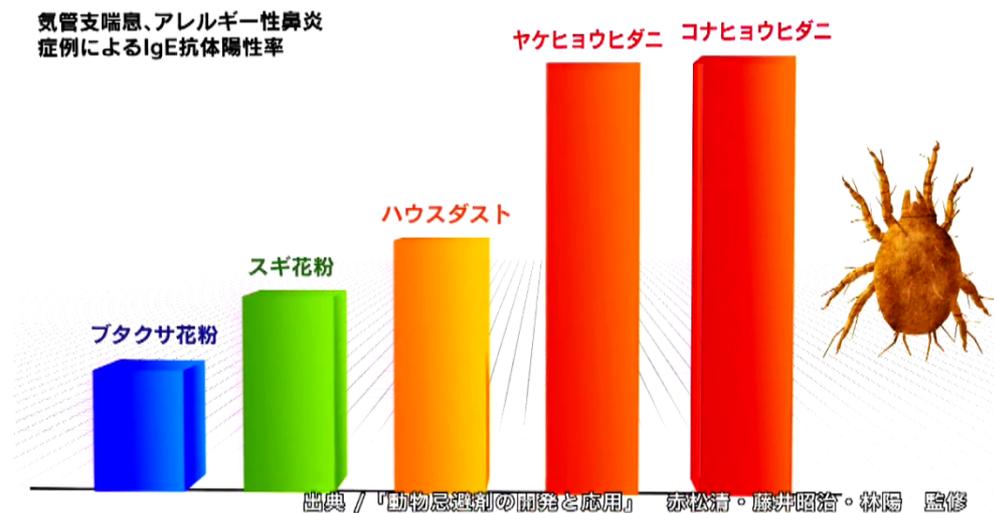
現代社会では日本、米国、欧米各国などの先進国はもとより、中国などの中進国でもアレルギーが国民病のような存在になっております。日本では国民の約50%、米国もほぼ同じ、中国では約30%。

※日本資料 「アレルギー疾患対策の方向性等」(平成23年8月 厚労省健康局疾病対策課長通知)

※米国資料「National Health and Nutrition Examination SurveyⅢ」

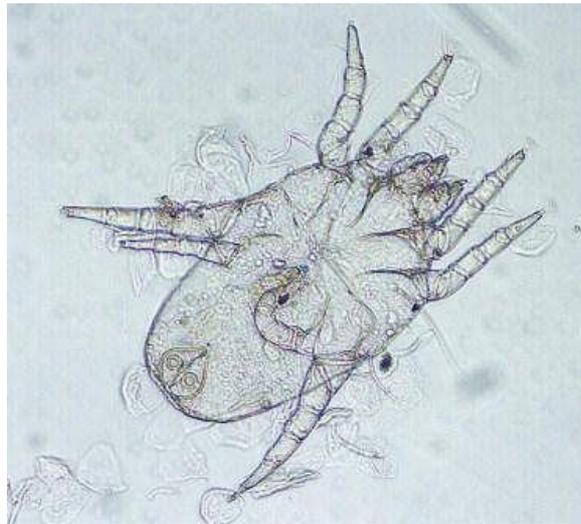
(The Journal of allergy and clinical immunology 2005)

アレルギーでも環境が起因するものの代表的存在がダニアレルギーで、環境起因のアレルギーでは喘息、アトピー、鼻炎などのアレルギー症状がありますが、この原因の70～80%がダニ、チリダニなどの屋内ダニと言われるものです(※)。



※資料①「アレルギーの原因」 「動物忌避剤の開発と応用」

とりわけ各国において共通して深刻な問題は、「子どものアレルギー問題」です。



※ 屋内ダニの代表種チリダニ（雄・成虫）

日本では小児性喘息の原因の70～90%は屋内ダニです。

※資料：厚労省「成人喘息の疫学、診断、治療と保健指導、患者教育」

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/kenkou/ryumachi/dl/jouhou01-07.pdf>

しかもその罹患率は20年前の24.5%、10年前の11.9%と深刻になって
おります（※以下資料により「幼稚園児」「小学生」「中学生」対象に算出）。

喘息罹患率（文科省 以下の学校保健統計資料より掲載 単位：%）

幼稚園	平成7年	0.90
	平成17年	1.60
	平成27年	2.14
小学校	平成7年	1.40
	平成17年	3.30
	平成27年	3.95
中学校	平成7年	1.40
	平成17年	2.70
	平成27年	3.00

※資料

平成27年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2016/03/28/1365988_01.pdf

平成17年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）

http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/003/17/06030312/002.htm



※画像 乳児のダニによるアトピー性皮膚炎・症状例

屋内ダニは、「人間の生活環境の変化」とともに日本、世界の先進国の一般家庭で上昇の一途を辿っています。一言で言いますと、「人間にとって快適な環境であればあるほどダニにとっても快適な環境となり猛烈に繁殖する」、「人間が自分のために冬でも春のように温かい環境をつくれれば作るほど、夏は快適、快眠を得られる室内環境にすればするほど、ダニにとっても住みやすく、繁殖しやすい環境になる」、これが人間とダニとの相関図のようなものです。

検査機関のJIS（※）に基づく実験でもチリダニが、3か月間で約500倍に増殖した結果もあります（※）。

※資料2① JIS「繊維製品の防ダニ性能試験方法」

※資料2② 「試験結果報告書」 株式会社愛研



※ 中学生のダニによるアトピー性皮膚炎症状例

昔の家は、襖と障子で、家の中を外気が流れ込み、夏にはハエや蛾が家じゅうを舞い、冬には寒風が吹きすさぶ環境で、屋内ダニにとっても冬には寒気と乾燥で、その多くが死んだり弱ったりというのがごく普通の環境で、また家屋と屋外との遮断が少ないので、ダニを餌にする外敵も屋内に容易に侵入し、ダニの天敵も家の中にかつては多く存在していました。

これを大きく変えたのが戦後1960年代からの高度経済成長に伴う建築ラッシュと家屋の気密化でした。室内には便利さ、快適さを追い求めるようにエアコン、加湿器など室内環境を、年間を通して快適に保つための家庭電器用品が全国いたるところの家庭にまで普及し、その結果得たのが、日本人の「快適な暮らし」でした。

この「快適な暮らし」を光としますと、ちょうどその影にあたる存在が「ダニの爆発的な屋内での繁殖という環境変化」です。

今や、日本、米国、中国、ASEAN 各国でも、「ダニは人類に最も身近な最多個体数の害虫である」という定義が、現代社会における「人間とダニの基本問題」を正鵠に表現していると申し上げて良いでしょう。



※ 布団内部の繊維に産み付けられた孵化間近のチリダニの卵

(2) 化学性殺虫剤の問題

人間と環境という視点から害虫関連で象徴的な問題が、「化学性殺虫剤」の問題です。「化学性殺虫剤」の歴史は「農薬」つまり「農作物害虫を駆除する」目的で開発されたのがその端緒であり、家庭用の害虫（ハエ、蚊、ゴキブリ等）対策の殺虫剤はその延長線にあり、その基本構造は、本質的にほぼ同じです。

「化学性殺虫剤と人間の相関関係を凝縮した事件」が、米国による第一次湾岸戦争でした。砂漠の過酷な環境は「砂漠に住むサソリ、その他との化学性殺虫剤による害虫との戦い（正確にはサソリは節足動物であり昆虫ではない、ダニも昆虫ではない）が、結果的にイラク軍との交戦戦死者をはるかに越える戦死者、戦争被害者を米軍にもたらしたと言われております。

問題は、現代社会で使用されている化学性殺虫剤も基本的には、その本質は爾後まったくほとんど変化がないということです。

しかもやっかいなことにダニはその生態としてこうした化学性薬剤への耐性が強く、化学性殺虫剤では容易には死にません。

弊社研究室でも噴霧式スプレー方式の化学性殺虫剤の代表的商品でチリダニの全身が濡れるほど噴射実験し、24時間経過後でも一匹も死亡結果が出ませんでした。

屋内ダニがアレルギーの主要原因であると言われ続けながら、その原因であるダニそのものへの対策の根本的な難しさの一端もここにあります。



2 日革研究所の企業理念とこれまでの歩み

(1) 製品性能、品質

弊社製品は、ダニ捕りマット、ダニ捕りロボ、Ninja ROBO（海外統一商品名）、Ninja ROBO 忍者老宝（中国での商品名）という商品名で販売しております。その最大の特長は、「化学性殺虫剤、化学性薬剤成分を一切使用していない」という点です。ダニの生体は約80%が水の成分で構成されており、弊社製品はそこに注目し、誘引剤でダニを誘き出し、天然由来乾燥物質でダニの体表をおおうことでその水分を「物理的に外部から吸い取り、奪い獲る」ことでダニをミイラにしてしまうことで退治する構造になっております。この製品の安全性の高さ（毒性検査）は、OECD 世界基準で、すなわち化学性物質の安全性基準（毒性評価）で最高ランク（「区分外」）の証明を日本（※）初め世界各国の著

名な検査機関で受けております。

※資料③「雌ラットを用いる急性経口毒性試験」（検査機関：一般社団法人 日本食品分析センター）

もう1つの特長は、「ダニ増殖抑制率100%」（※）をJIS（日本工業規格基準試験 JIS1920）（※）で立証された製品で、ダニ対策製品性能基準で世界でもトップクラスの証明を海外でも受けております。

※ 資料④「増殖試験」（検査機関：株式会社ピアブル）

※ 資料②1 JIS「繊維製品の防ダニ性能試験方法」

この技術は、日本が世界に誇れる先端の生物科学技術として、日本、米国で特許を取得しております。



※画像 日本特許証、米国特許証

日本特許第3205736号

（2）製品開発の背景

弊社製品が世の中に初めて生れてくるには、発端が20年ほど前に遡る1つの研究、開発の実話がありました。

弊社の創業者で現会長の渡邊秀夫に当時、次男夫婦の間で長女、初孫が誕生いたしました。孫は誕生まもなくから重度のダニアレルギーのアトピーに罹患し、強度の痒みと全身の湿疹が続き、赤ん坊は日夜泣き止まず、母親は夜間眠ることもできない日々が続いておりました。

治療にあたった医師も痒みとめのステロイド軟膏を処方薬として出し、あとは

寝具の掃除をひたすらするように、どの指示しか出せませんでした。 医師でもお手上げの難病がダニアレルギーであり、アトピーでした（基本的には臨床では現在もほとんど変化はありません）。 渡邊秀夫は、初孫が重度のアトピーに苦しむ姿に、また子どもを日夜看病し疲労困憊する母親の姿を見て悩み続けました。「苦しむ孫を何とか助けてやりたい。」という熱い思いを込めて何とか「安全に効果的にダニを退治できる方法はないか」と日夜研究を続けました。 その結果、開発誕生したのがダニ捕りマット、ダニ捕りロボでした。「お爺さんが孫を愛する一心から生れた」からこそ、「ダニに対しては完璧な性能と効果」を追い求め、愛する孫が使うからこそ「最高の安全性」を追い求め、開発を続けて、ダニ捕りマット、ダニ捕りロボ（Ninja ROBO）は、この世に生まれました。



日革研究所 代表 渡邊秀夫

現代社会においては、そうした子どもたちの健康、安寧に深刻な影響を及ぼす室内環境悪化の最大の原因が屋内ダニです。 そのダニを化学性薬剤ではなく、高い水準の安全性を有する弊社製品で日本のそして世界の子どもたちを、その家族をダニの被害から守るために取組み続けて参りましたのが、弊社のこれまでの歴史と申し上げて良いかと存じます。

（3）製品販売の現況

弊社は、日本でも販路は、『通販生活』（カタログハウス社）、ディノス、東急ハンズなどそれぞれ各社が社会的にも消費者から高い信頼性を持つ取引先だけを厳選、限定して販売して参りました。

お蔭様で、カタログ通販業界トップの『通販生活』では3年連続第3位、東急ハンズで2年連続売上第1位、インターネットショッピングトップのAmazonでも第1位と経過しております。

海外では、米国でインターネット世界一の米国AmazonにNinja ROBO・旗艦店を

設け、中国では中国のインターネットビジネス1位の天猫（阿里巴巴）に Ninja ROBO 忍者老宝・旗艦店を開設してそれぞれ販売を行っております。海外での本格的販売はこれからスタートという状況にあります。

日本では出生数がおお低調な状態が続いていますが、アジアでは増加の一途を辿っております。子どもは家族の宝、社会の宝、そして未来を担う国の宝。弊社は、世界の子どもたちの健康に奉仕するダニ対策のオンリーワン技術で、日本が世界に誇る MADE IN JAPAN、Ninja ROBO で先進各国ではもとより、住居環境の欧米化が進み、気密性が高くダニの増殖に適した室内環境に激変しているアジア、中国、ASEAN 各国等を中心に世界でダニ問題解決へ大変微力ながらもこれから積極的に貢献して参りたいと考えております。

3 「33億匹ダニ供養会」

供養会に寄せる願い

弊社は、子どもたちの喘息の、アトピーの最大原因の屋内ダニを退治続けて、2016年7～8月頃にて販売累計が1000万個に到達する予定です。その退治したダニ総数は累計で約「33億匹」に上ります（※）。

※ 累計商品総数と商品別モニター総数に商品別平均捕獲数を乗じた数（2015年4月末時点）。

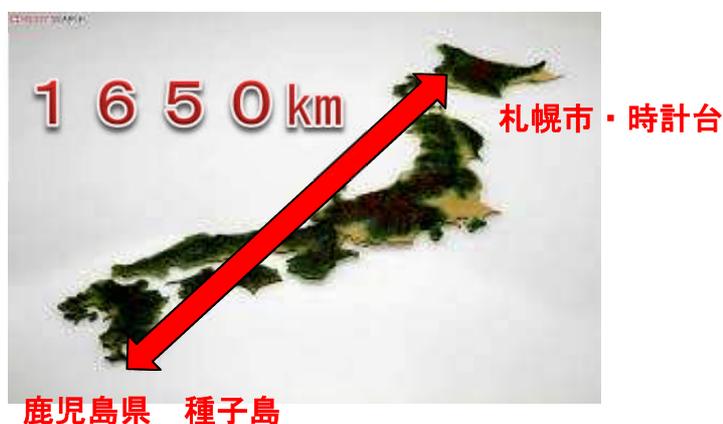
ダニ「33億匹」とは、どれくらい？

ダニの体長で33億匹の「長さ」ではどれくらい？

約 **1650 km**、これがダニ33億匹の横たわった平均体長の長さです。

※チリダニ 体長約0.5mmで換算。

北海道・札幌市 時計台から直線で、鹿児島県・種子島の最東端 田ノ脇岬。



1000万個到達を1つの節目に、次の願いを込めまして「33億匹ダニ供養会」を実施させていただきたいと考えております。

屋内ダニは、主に「人間を餌」として生息を続けています。その主な内容は、人間の垢、フケ、髪の毛などの落屑物で、1人の人間の1日の落屑物だけで約20万匹のダニの必要餌に相当します。新陳代謝が大人より活発な子どもたちにダニの被害が多い1つの原因は、成長に伴う落屑物の多さ、活動の活発さからも覗き知ることができます。



※ 人間の髪の毛を食餌しているチリダニ



※人間のフケを食餌しているチリダニ

ダニは人間が生存していることで生存でき、人間が作る快適環境で最大の繁殖環境を得て、現代社会においては、ダニは人類の最も身近な最多数の害虫になり、特に子どもたちの健康被害の大きな元凶となっています。 まさに、人間を光にたとえると、ダニはその影として表裏一体に存在しています。現代社会の1つの問題を抱えた一体不可分の集合体が人間とダニとの相互関係と言えます。

弊社自身が、長年にわたりそのダニを退治し続け、ダニの幾多の生命の犠牲があつてこそ、成り立ち続けてきました弊社の我が身の現実がございます。ダニを退治することで子どもたちの健康、生命を守り、子どもたちを愛するその家族の多くの喜びを実現したいと努めてまいりました。しかし、ダニにも尊い命があり、その多くの命を奪い、いただいていることの申し訳なさど、深い感謝の気持ちを「33億匹ダニ供養会」への弊社の願いとしたいと考えてお

ります。

それと共に、創業以来の発願であります、「日本中の、世界中の子どもたちの健康と子どもたちが安心して暮らせる平和な世界を祈願する会」としたいと念願しております。

「33億匹のダニの菩提を弔い、日本中の、世界中の子どもたちの健康と子どもたちが安心して暮らせる平和な世界を祈願する。」



世界の子どもたちに健康の笑顔を届けたい

本年、8月11日（木）の「33億匹ダニ供養会」を初回といたしまして、これから毎年、8月11日に姫路市、龍門寺におきましてダニ供養会を開催したいと考えております。

平成28年（2016年）5月16日

日革研究所グループ

有限会社日革研究所 有限会社ティシビジャパン
クルコジャパン株式会社 日革商貿（上海）有限公司
代表取締役会長 渡邊秀夫

兵庫県たつの市龍野町日山93-2 （※日山オフィス）

広報担当：渡辺敏之（わたなべ としゆき）、尾崎義政（おさき よしまさ）

電話：0791-64-3700

FAX： 0791-64-3701

携帯電話： 090-4648-1119 （渡辺敏之）

メール：binsan-w@teb-j.com

ホームページ：<http://www.nikkaku-j.com/>

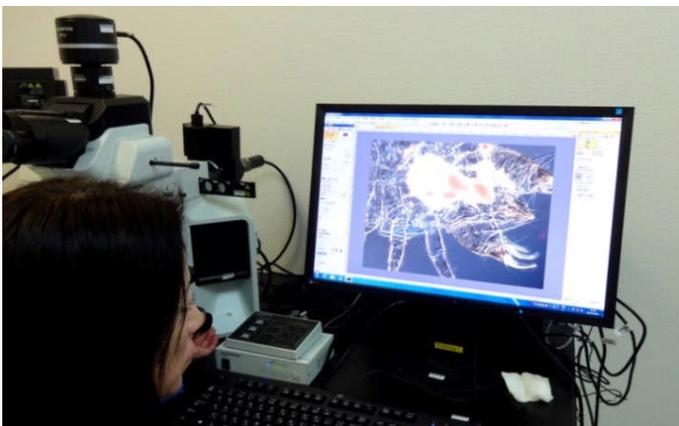


相生工場（兵庫県・相生市）



研究開発室（兵庫県・上郡町）

【研究開発室】



【供養会 開催地】

龍門寺 (りょうもんじ)





名称：龍門寺（りょうもんじ） 臨濟宗妙心寺派寺院
 所在地：兵庫県姫路市網干（あぼし）区浜田812
 電話： 079-272-1276
 特長：広大な敷地に15世紀初頭からの17棟の
 伽藍が並ぶ。 座禅道場でもあります。
 最寄駅：山陽電鉄網干線「山陽網干」駅下車徒歩約18分
 自動車：阪神高速神戸線→姫路バイパス、中地ランプ→
 国道250号線、浜田変電所（交差点）左折